

# あびらの未来を、みんなで考える。

## 新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれています。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

### 前回のおさらい

前々号（広報あびら12月号）では、「総合計画とはどういうものか」について、8月号から深掘りしてお伝えしました。総合計画は「なぜやるか」を定める基本構想」「どうやるか」を定める基本計画」「何をやるか」を定める実施計画」という三層構造となっています。住民の皆さんにとっては『何をやるか』が最も重要ですが、その理由などをしっかりと見定めて住民の皆さんと共有していくことも大切だと考えています。

安平町ではここ数年、転入される（入ってくる）方の数が転出される（出ていく）方の数を上回る状況が続いています。こうした成果に結びついている背景にある「第2次総合計画」の特長や人口の状況などについてお伝えします。

## 人口の推移



※2025年以降の社人研推計は、2020年国勢調査結果を踏まえた推計ではなく、社人研の平成30年3月公表値を使用（2015年国勢調査結果を反映） 出典：国勢調査、2025年以降は社人研推計

このグラフは、これまでの人口と公的機関が算出した将来の推計値を表したものです。1960年付近をピークに年々人口減少が進み、2025年の推計値以降もその傾向が続くと予想されています。

そのような状況の中でも、令和4年から令和7年にかけて4年連続で転入者が転出者を上回る人口の「社会増」が続いています。さらに令和7年は、お生まれになる方とお亡くなりになる方の数を差し引いても、令和6年末から比較して人口が20名増加し、7,234名（令和7年12月末時点。速報値）となりました。

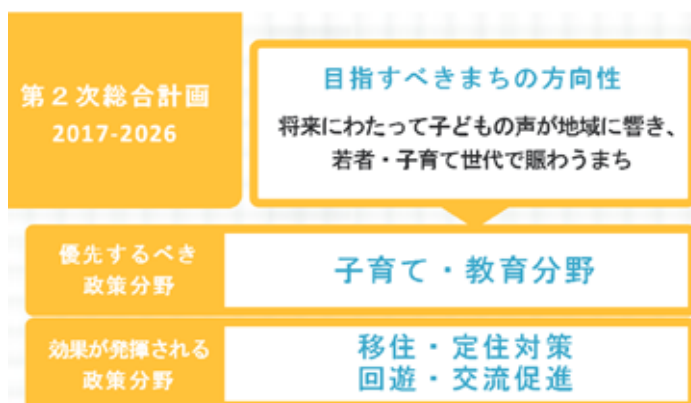
【社会増】 令和4年：15名、令和5年：91名、令和6年：21名、令和7年：119名

※その年の1月1日から12月31日までの数を累計

【人口増】 令和6年末：7,214名 → 令和7年末：7,234名

## 第2次総合計画の特長

先ほどのグラフの通り、安平町の人口は少子高齢化で将来にわたって減少していくことが予想されますが、この傾向は第2次総合計画ができた当時も同じでした。そうした状況の中で直面する大きな課題の一つとして、あらゆる分野での「担い手・なり手不足」が挙げられています。



この課題を解決するために、当時から強みとして挙げられていた「子育て・教育」分野で注目を集め、安平町を知り、実際に来て、最終的に住んでいただくことで、活力ある子育て世代の皆さんを中心に、まちづくりの新たな「担い手・なり手」としてこのまちを支えていただこうと計画されています。

こうした昨今の状況の背景には、第2次総合計画の特長が少なからず影響しているものと考えます。

### 今後の予定

本年度に入り第3次総合計画づくりに向けて、まちづくりアンケートなどを通じたさまざまな場面で町民の皆さんの考えをお聞かせいただいています。

今後は、その結果についてもご報告していくことを予定しています。

また、下記の方法でいつでもご意見を募集していますので、お気軽にご利用ください。

### 【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元コードからもアクセスできます。

インターネット受付先：<https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先：〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先：FAX 2026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751